

ここで生きてゆく。

❖ 計画の推進に向けて

■ 地域別協議会を通じたまちづくりへの住民参画

村民の生活再建は復興施策の中で最も優先すべき課題です。特に、今回の災害で住宅を失った村民に対し、安全な宅地を確保し、住まいの再建を早急に進める必要があることから、地域の課題や将来像を話し合う場として、地域別協議会の立ち上げを働きかけます。

協議会では、大学やまちづくりの専門家等外部の協力を得ながら、ハード整備だけでなく、今後の出水期に対応できるよう、避難等に関する備えや新しいコミュニティづくり、地域の持続的な発展につながる取組等の計画づくりを進めます。



■ 関係機関との連携・協力・協働

復旧・復興を着実に進めていくため、村民と村を中心としながら、様々な主体との連携・協力・協働により、復旧・復興に取り組んでいきます。



球磨村

〒869-6401

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

TEL : 0966-32-1111 FAX : 0966-32-1230

HP : <https://www.kumamura.com/>

球磨村復興計画 概要版



令和3年3月
熊本県球磨村

❖ 基本理念

災害に強く、豊かな地域資源を後世に継承し、
住民が安全に安心して住み続けられる
山里「球磨村」の復興

❖ 復興に向けた計画体系



❖ 計画の期間

復旧・復興基本方針は、第6次球磨村総合計画と整合を図るべく計画期間を令和2年度～10年度までの9年間とします。復興計画については、令和2年度～5年度の4年間を前期として復旧・復興について策定し、令和6年度～10年度の5年間は総合計画における後期基本計画に一本化することを前提とし、復興・発展について策定します。



❖ 地域別復興方針

地域別被害状況は一律ではなく、地域の課題や復興の方向性も異なることから、渡、一勝地、神瀬、三ヶ浦、高沢の5地域別に復興方針を取りまとめました。今後はこの方針に基づき、地域別の協議会で話し合いを行い、関係団体、国、県等の事業と連携・調整しながら具体的な取組みを進めていきます。



❖ 後期計画に向けて球磨村の将来ビジョン

球磨村を今まで以上に魅力ある、住みやすい村にしていけるためには、安全で安心な暮らしを確保することはもとより、人口減少・高齢化にも対応した新しいむらづくりの取組みが必要です。村の資源に加えて、新しい情報技術等を活用し、持続可能な開発目標SDGsの達成等、時代の要請に対応しながら、単に被災前の状態に復旧するだけでなく、未来に向かって、持続可能で豊かな、すべての村民がいいきと暮らせるむらづくりを進めていきます。

未来の球磨村



その①

地域での助け合いが進み、災害が起こったとしても不安のない暮らしが実現している

その②

球磨川と流域の豊かな自然を活かしたエネルギーの地産地消等、環境と共生した暮らしが実現している

その③

自然や文化を活かした新たな仕事が増え、球磨村に移住定住する若者が増えている

その④

あらゆる分野で情報技術が活用され、山あいの地でも便利で快適な暮らしと生産性の高い生業(なりわい)が実現している